

マイワシで作る ~いわし蒲焼缶詰~

ペーパークラフトシリーズ No. 3

英名：japanese sardine
学名：*Sardinops melanostictus*
分類：ニシン目 ニシン科

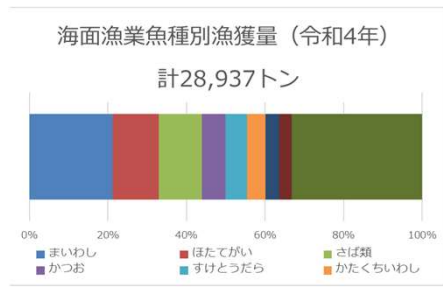


マイワシは日本で一番獲れる魚です。マイワシの漁獲量が、日本全体での漁獲量に影響するといっても過言はありません。日本ではマイワシを太平洋系群と対馬暖流系群の2つに分けて資源管理をしています。

マイワシは回遊性の海水魚で、生まれてから2年ほどで18~20cm位になります。旬は漁獲地域によりズレはありますが、おおむね初夏から秋頃が旬。特に6月~7月頃に銚子をはじめ関東付近で獲れるマイワシは「梅雨いわし」や「入梅イワシ(にゅうばいいわし)」と呼ばれ、脂のりが始める頃の、旬のマイワシとして親しまれています。

また、9~10月頃からの釧路などで獲れるマイワシも大型で脂のりがっており、こちらも絶品です。

脂のりがったマイワシは、缶詰や鮮魚に、特に鮮度が良いものは刺身用として市場に出回っています。また、フィッシュミールや魚油等、原料としても活用されています。



缶詰工場の棚谷です。
作る前に必ず
お読みください！

- ・組み立てに入る前に、説明書をよく見て、全体の流れをつかんでください。
- ・刃物を使用する際は、十分に気を付けてください。

下記の道具を用意してください

はさみ



カッター

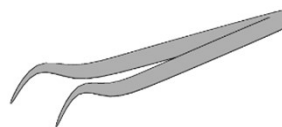


のり

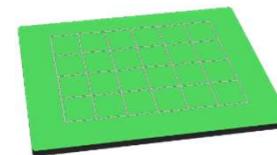


あると便利な道具

ピンセット



カッティングマット

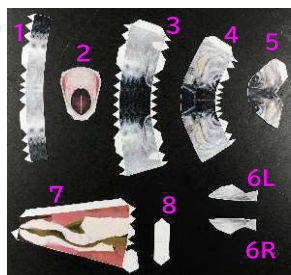


このペーパークラフトはマイワシを細部にまでこだわり再現したもので、マルハニチロの「いわし蒲焼」缶詰を、組み立てたマイワシで作る仕立てとなっております。また、2月の節分のヒラギイワシも合わせて作れるよう、枝付きヒラギも用意しました。

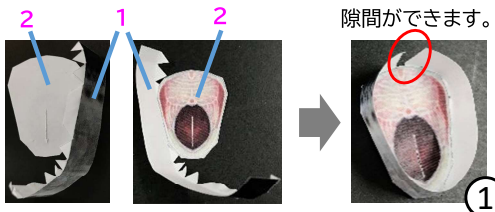
2~8ページ(ヒラギイワシを作る場合は11ページも)をA4用紙に片面でカラー印刷し、ご使用ください。

所要目安時間は約3時間(ヒラギイワシは+1時間)です。各パーツを切り抜くところなど、細かな作業が発生しますが、マイワシ好きのみなさま、是非チャレンジしてみてくださいね♪

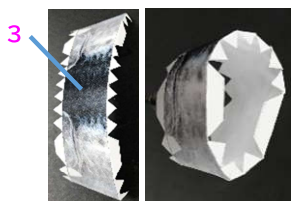
1 頭部と内臓の組み立て



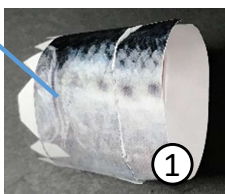
頭部の組み立て



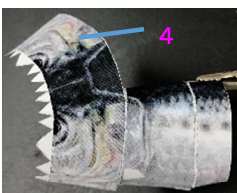
パーツ2に、パーツ1を巻き付けて接着します。



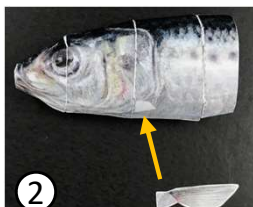
パーツ3を丸めて輪にして、①と接着します。



パーツ4をかぶせるように接着します。

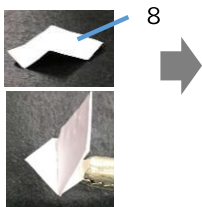


パーツ5をかぶせるように接着します。



パーツ3の白い部分に合わせて、
パーツ6L(左側の胸びれ)の根本を接着します。
*右側も同様に、パーツ6Rを接着します。

内臓の組み立て



パーツ7を丸めて組立て、写真の位置にパーツ8を接着します。

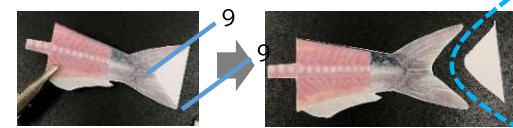
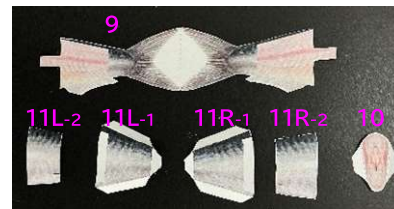


パーツ8を折り曲げます。



②のスリットに③を差し込みます。

2 尾部の組み立て



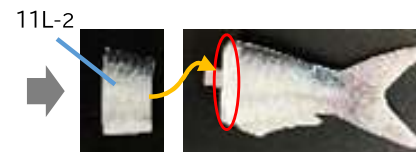
パーツ9を破線で山折りにして接着後、
白い部分を切り取ります。



パーツ9の中骨の部分を、
パーツ10のスリットに通します。



パーツ9の断面の部分が隠れるように接着します。
*右側も同様に接着します。

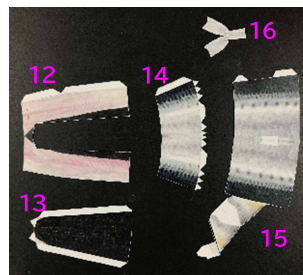


パーツ11L-1の白い部分が隠れるように、
パーツ11L-2を接着します。

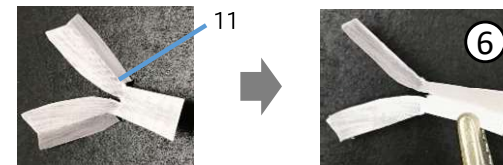


反対側(パーツ11R-1と、パーツ11R-2)も、
同様に作ります。

3 胴部の組み立て

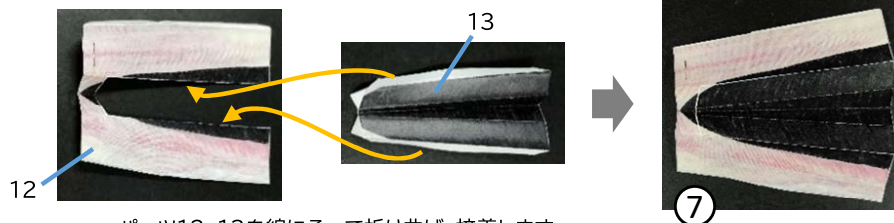


腹びれの組み立て



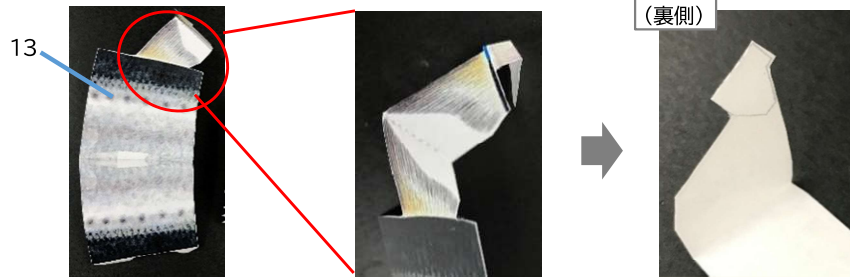
パーツ11(腹びれ)を、線にそって折り曲げ、接着します。

胴部(断面側)の組み立て



パーツ12、13を線にそって折り曲げ、接着します。

胴部(背びれ)の組み立て



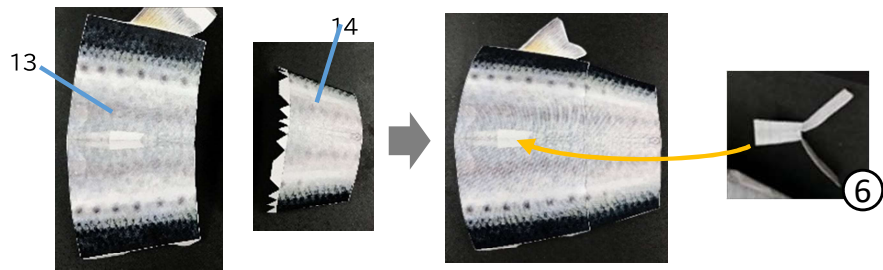
パーツ13の背びれを写真のように折り曲げ、接着します。



青色の部分を切り取ります。

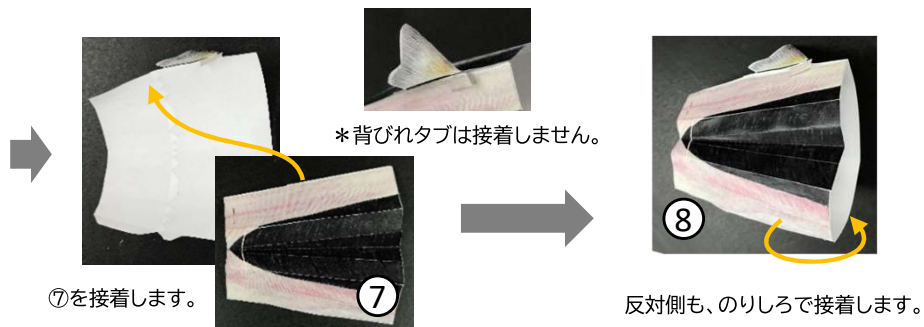
斜線の部分に接着剤を塗り、折り曲げて接着します。
*背びれタブは接着しません。

胴部の組み立て



パーツ13にパーツ14を接着します。

パーツ13の白い部分に、⑥を接着します。

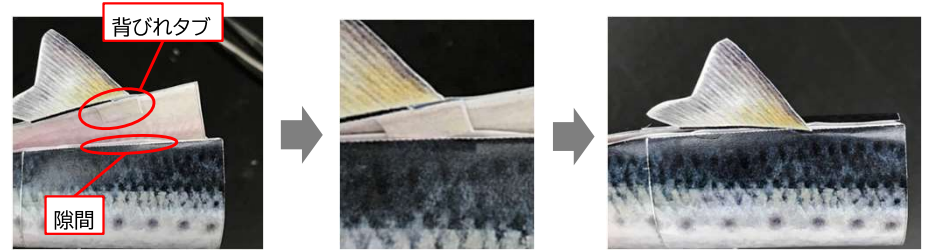


⑦を接着します。

*背びれタブは接着しません。

反対側も、のりしろで接着します。

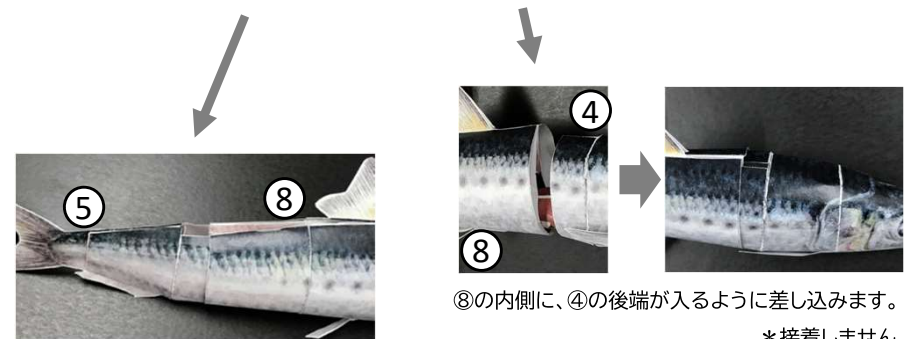
胴部の丸め方



胴体の左右を写真のように少しねじり、
背びれタブを反対側の隙間に差し込みます。

胴体の左右のねじりを戻し、
背びれタブの付け根の切り欠きを
隙間に差し込みます。

4 各部の組み合わせ

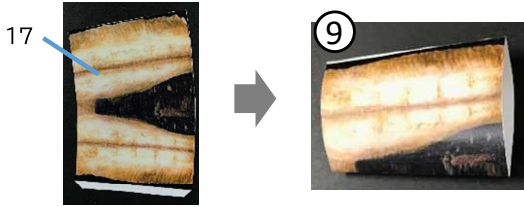


⑧の内側に、⑤の前端が入るように差し込みます。
*接着しません。

⑧の内側に、④の後端が入るように差し込みます。
*接着しません。



5 焼き目の組み立て



パーツ17を、破線部分で軽く折り曲げ、筒状にして接着します。

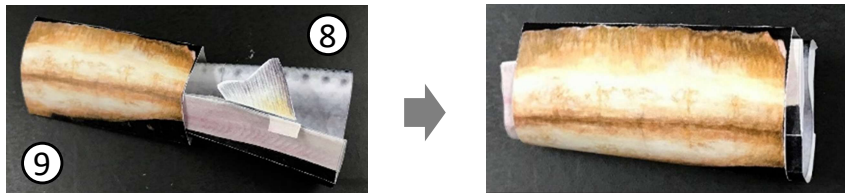
6 缶の組み立て



パーツ1を曲げて接着します。

パーツ2にパーツ3を接着します。

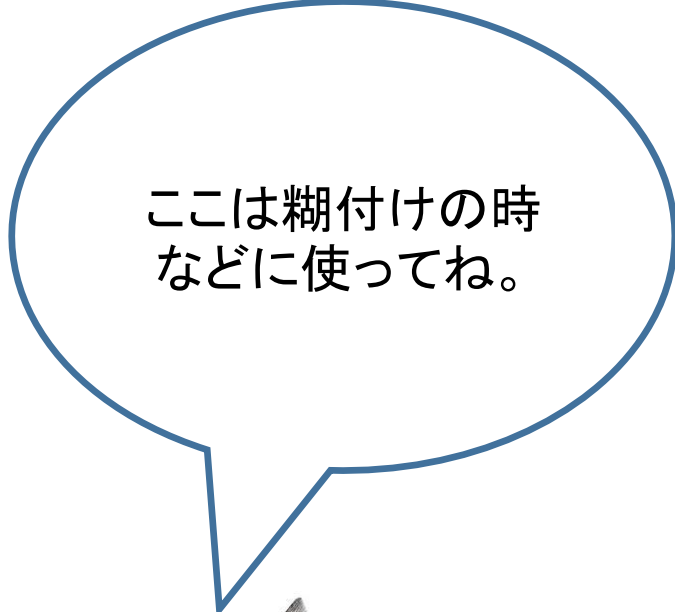
7 缶への入れ方



⑧を、断面が外側になるように丸め、⑨の筒の中に入れます。



缶に入れます。*2匹分入ります。

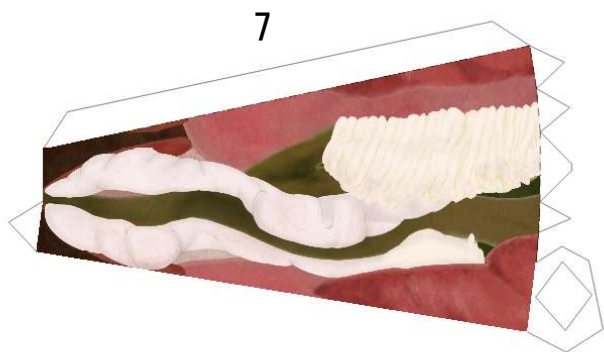
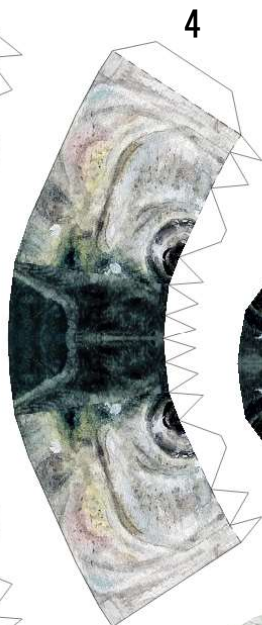


マイワシ姿・焼き目イラスト
Noguchi Kaoru

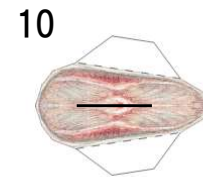
頭



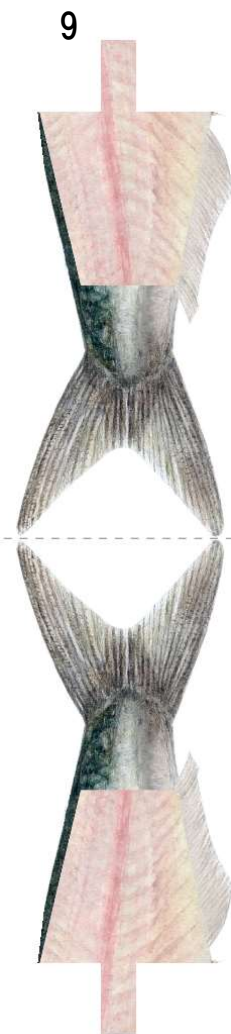
* 白線に切込を入れてください



尾



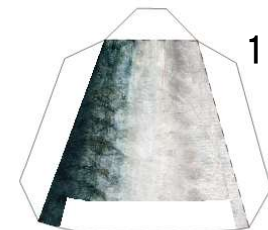
* 黒線に切込を入れてください



11 R - 2



11 R - 1

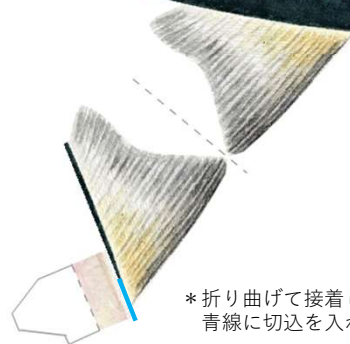
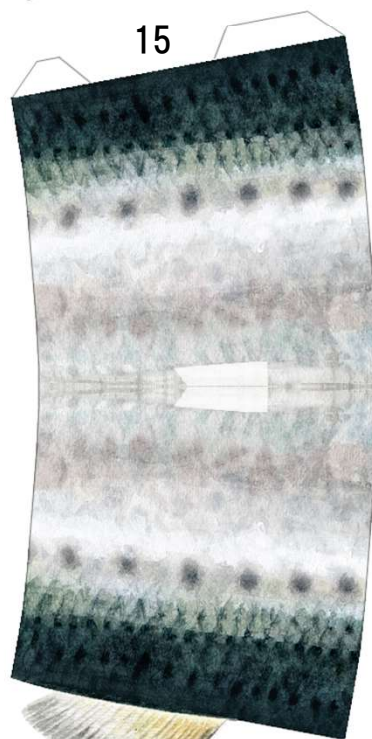
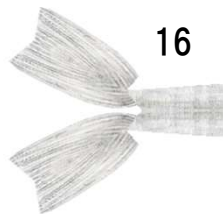
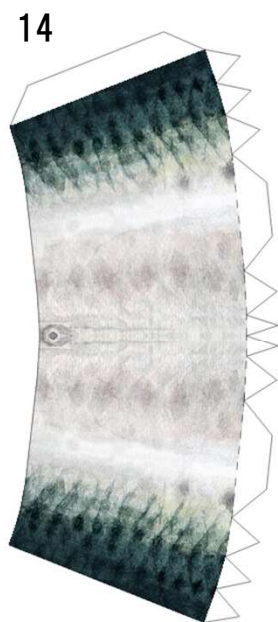
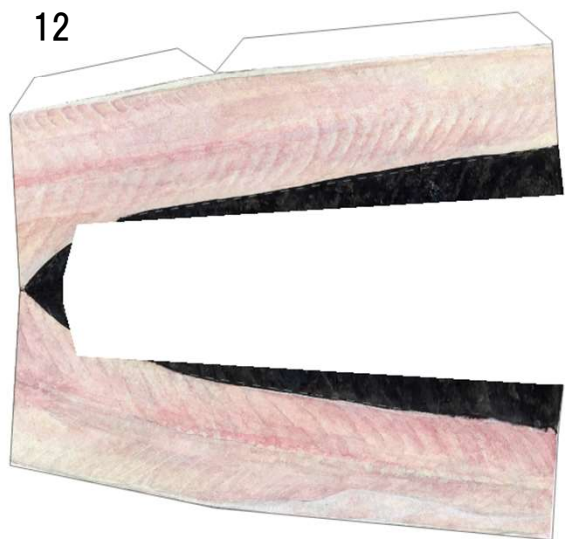


11 L - 1

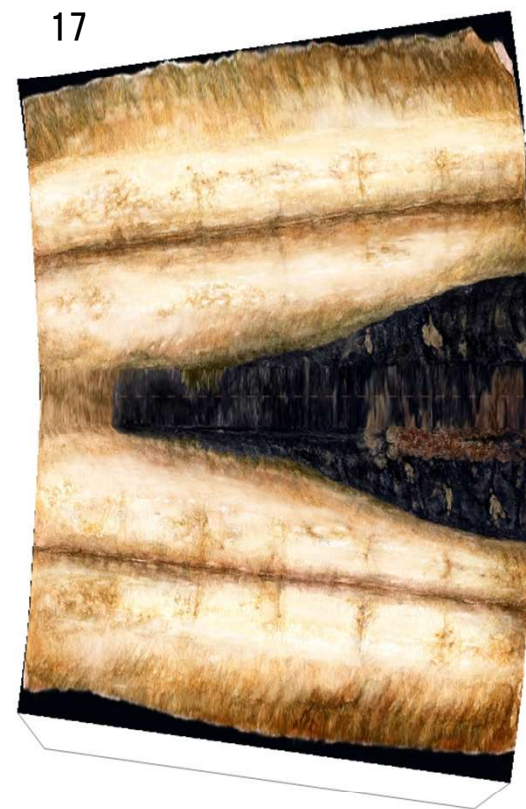


11 L - 2

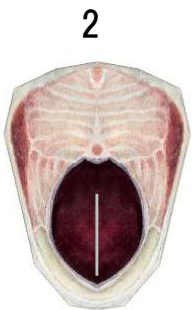
胴



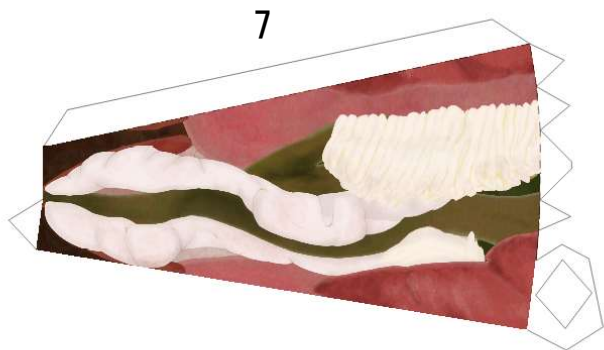
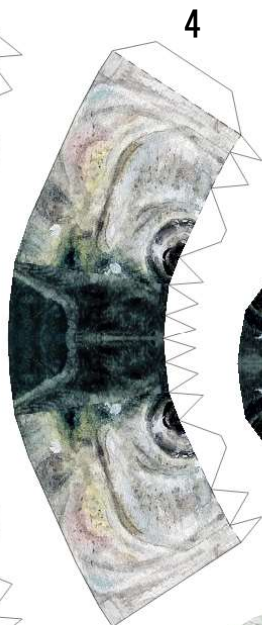
焼き目



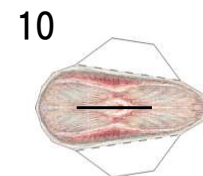
頭



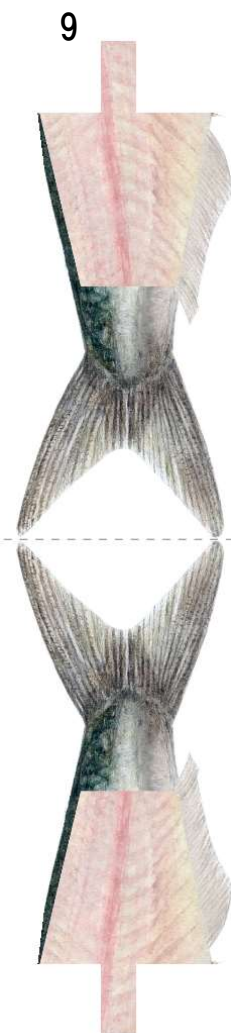
* 白線に切込を入れてください



尾



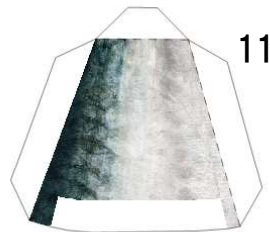
* 黒線に切込を入れてください



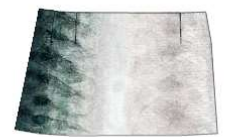
11 R - 2



11 R - 1

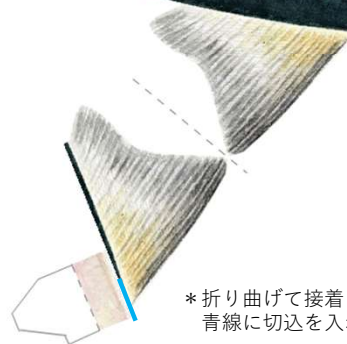
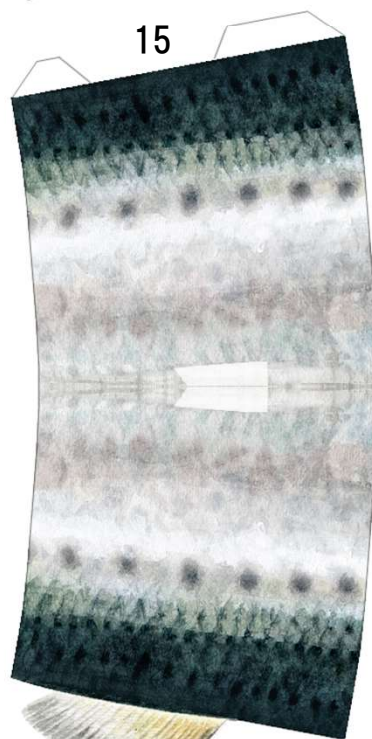
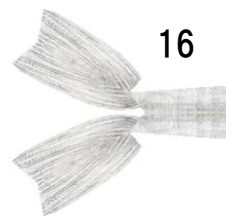
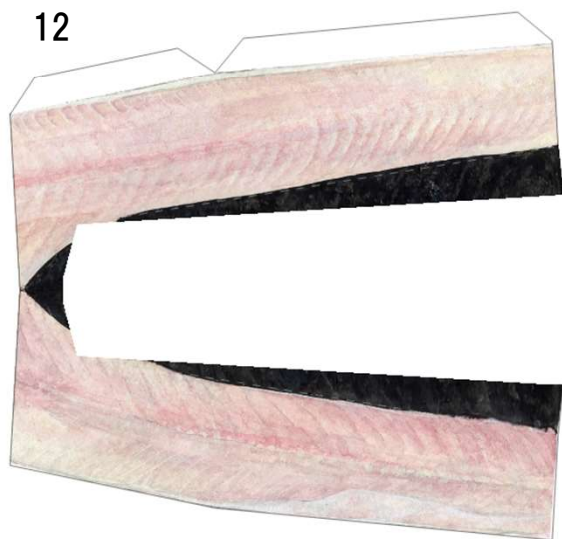


11 L - 1

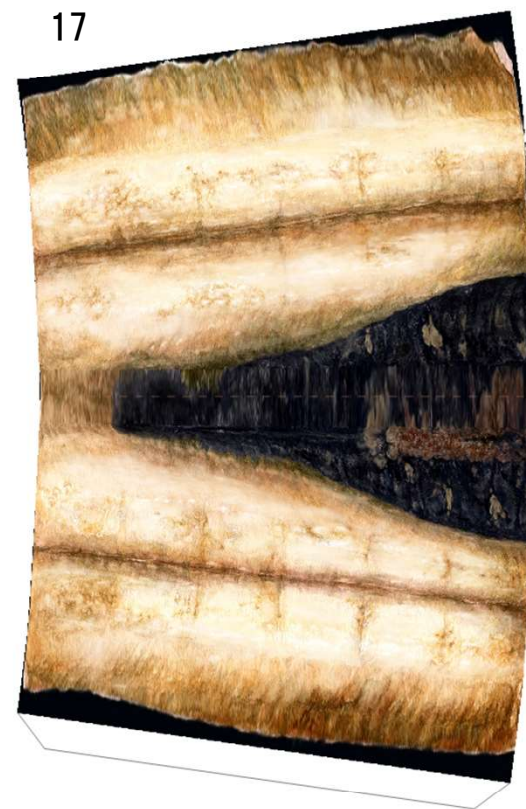


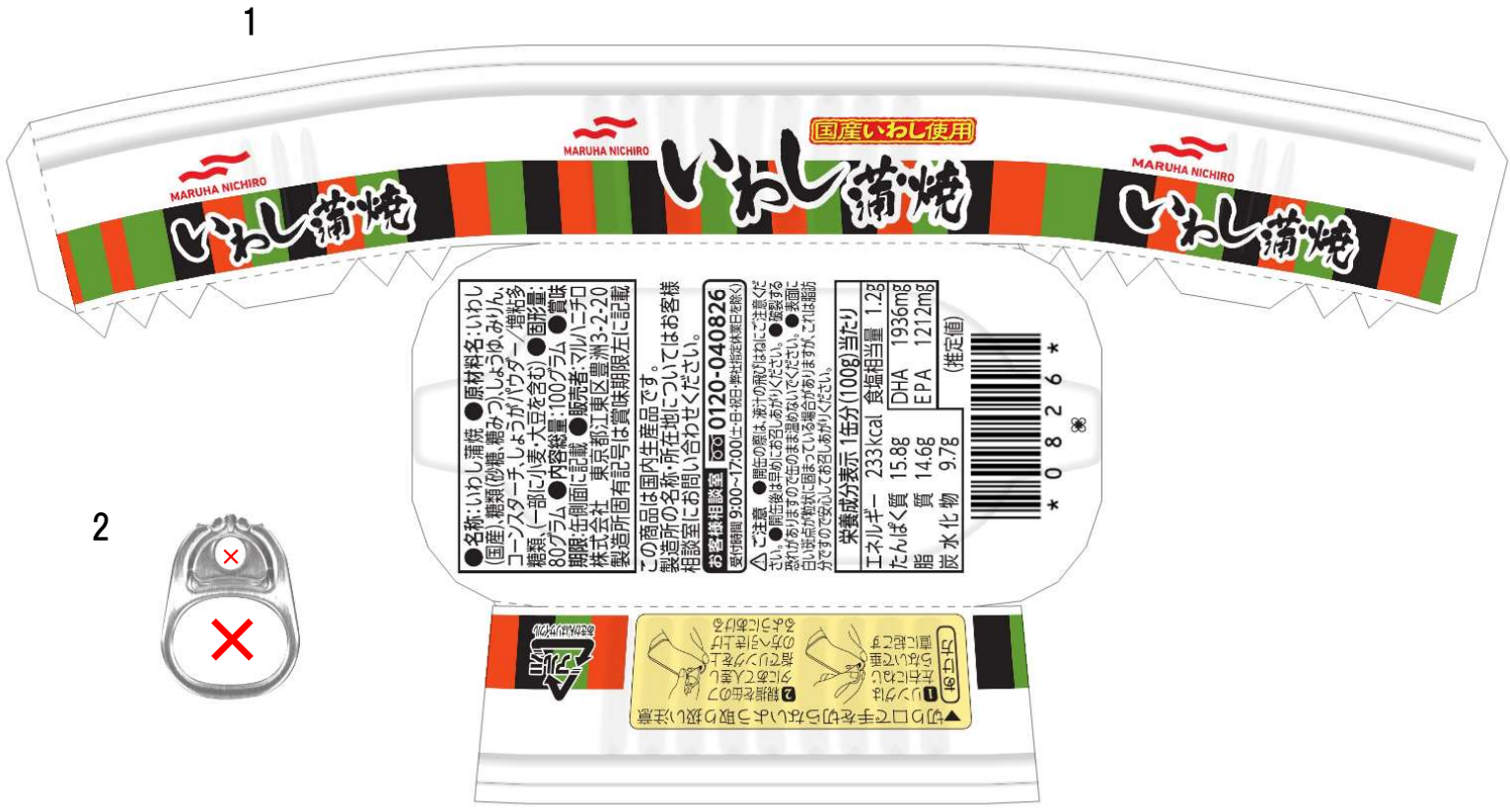
11 L - 2

胴



焼き目





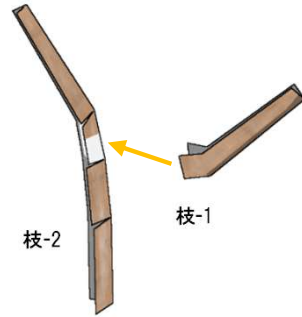
おまけ ヒイラギイワシ



ヒイラギイワシは、ヒイラギの枝に焼いたイワシの頭を刺した、節分の魔除け飾りです。イワシの臭いを鬼が嫌い、また、ヒイラギの葉の棘が鬼の目を刺すことで、鬼を遠ざけるとされています。

マイワシの胴体を缶に入れると、頭部が残ります。これを使って、節分に向けてヒイラギイワシを作ってみましょう。

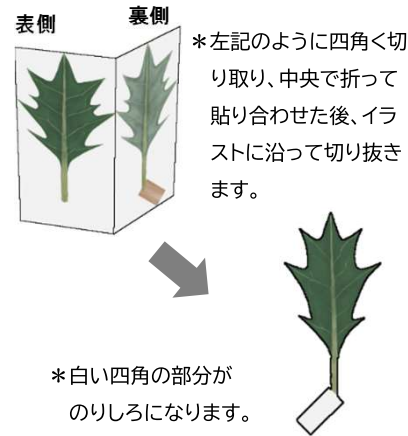
1 枝の組み立て



*枝-1の根本で枝-2の白い部分を挟み込んで接着します。

2 葉の組み立て

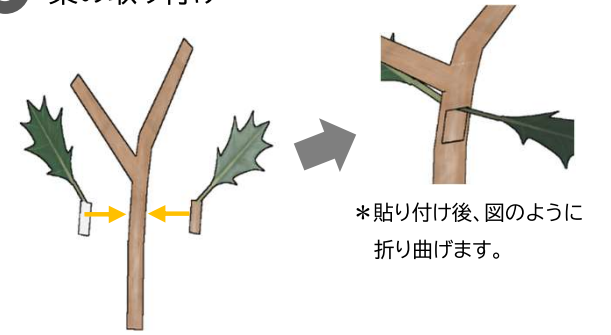
*葉にはAとBがありますが、両方とも同じように組み立てます。



*左記のように四角く切り取り、中央で折って貼り合わせた後、イラストに沿って切り抜きます。

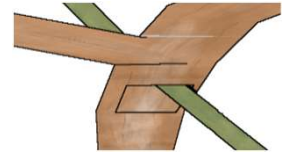
*白い四角の部分がのりしろになります。

3 葉の取り付け



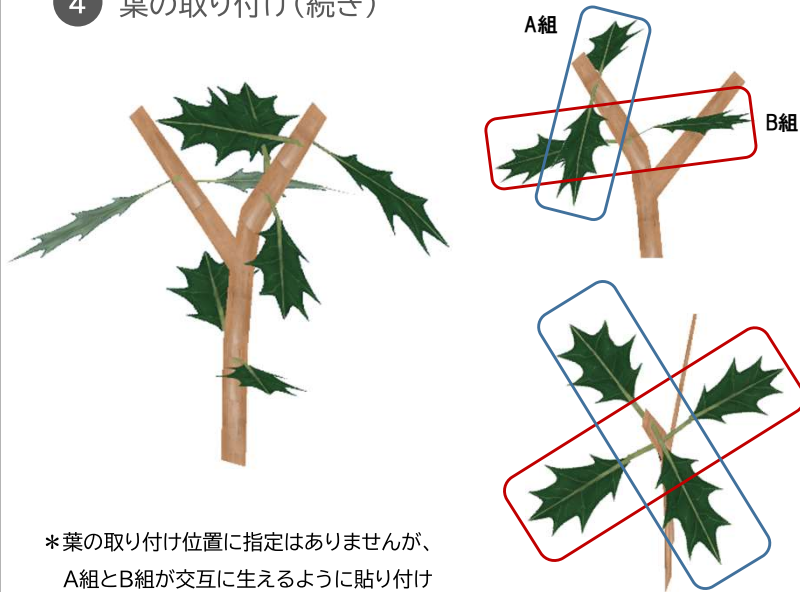
*貼り付け後、図のように折り曲げます。

*葉A同士、B同士が組になります。貼り付け位置は④を参考にしてください。



*上から見ると、枝に対して斜めに葉が生えます。

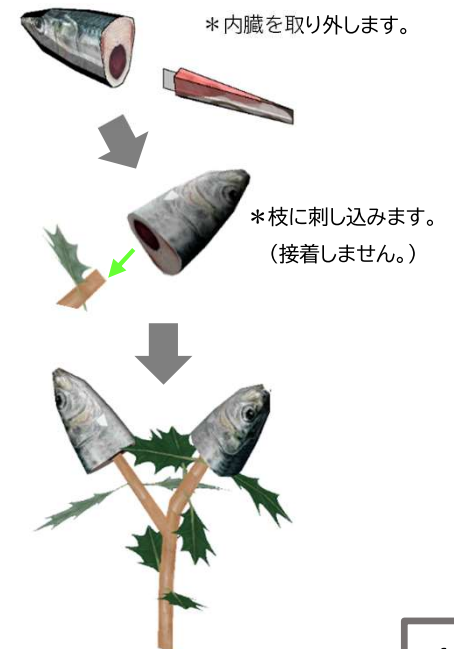
4 葉の取り付け(続き)



*葉の取り付け位置に指定はありませんが、A組とB組が交互に生えるように貼り付けます。

*上から見ると、葉Aの組と、葉Bの組が直交します。

5 マイワシの頭の取り付け



*内臓を取り外します。

*枝に刺し込みます。(接着しません。)

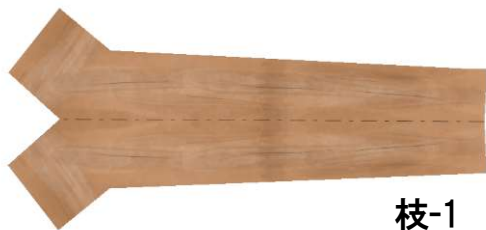
葉 A



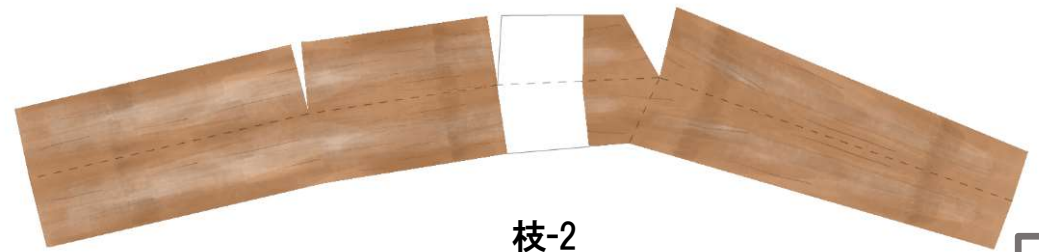
葉 B



枝



枝-1



枝-2